

# ソフト開発 商店街で

## 有明高専

に情報技術関連企業の集積を  
図りたいとの願いが込められ  
ている。

大牟田市中心部の銀座通商店街振興組合が昨年3月、空き店舗に設けたビジネス交流拠点「まちなかシリコンバレー」。同市にある有明高専の学生6人が就業体験を兼ねて働くソフトウェア開発会社「ASKプロジェクト」が入居し、若さと技術力で、商店街の再生を目指している。

靴屋だった2階建ての店舗を組合が約200万円かけて改修。IT産業で成長を遂げた米カリフォルニア州・シリコンバレーにならって、一帯



交流拠点では、学生と企業の打ち合わせなども行われるようになり、「シャッター通り」は若者たちで活気を取り戻しつつある。卒業後に、近くの空き店舗を借りて起業しようとする学生もいる。

専攻科1年の近藤一輝さん(22)は「商店街の人たちから、社会人としてのマナーも学ばせてもらっている。その恩返しとして、まちを支える人材になりたい」と意気込む。

▲交流拠点でソフト開発やホームページ作成に励む近藤さん(右)ら有明高専の学生